

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第23回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 伊藤 篤 (中大)

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について議論をします。本研究会では、企業・大学における研究・教育上の課題のみならず、製品開発や保守運用上の課題など、研究から実用化までを通した幅広い課題を対象として解決法を探ります。

期日 2020年10月22日(木)、23日(金)

会場 博多バスターミナル

(IN研究会, ICTSSL研究会, IEEJ-SMF研究会との併催)

募集案内 <http://www.ieice.org/cs/ns/nws/23/announce/>

テーマ：テレワーク時代のネットワークソフトウェア技術＋一般

概要

新型コロナウイルス(COVID-19)の流行により多くの企業でテレワークの普及が進んでいます。テレワークが普及するに伴い、セキュリティや接続端末数の増加による音声・映像の遅延等、解決すべき課題が多く見られています。また、現在はWeb会議が主なアプリケーション・サービスとして利用されていますが、今後、多くの業務をリモートにて実行するためのアプリケーション・サービスが発展していくと考えられます。本研究会では、テレワークの普及に向けて課題となるネットワークに求められるセキュリティ技術、ソフトウェア技術の発展を見据え、多種多様なアプリケーション・サービスを処理するためのネットワークソフトウェア技術について、幅広く課題や研究アプローチに関する発表を募り、議論を行います。

【本研究会の特徴】

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件あたり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

- ・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件あたり標準で20分。発表者からのプレゼンテーションは5～10分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てます。一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【各種締切】

一般講演申込み 10月2日(金)

ポジションペーパー講演申込み 10月2日(金)

研究会参加申込み 10月2日(金)

原稿提出 10月9日(金)

参加費振り込み 10月14日(水)

【参加費(予定)】

一般 7,000円, 学生 3,000円

【講演・参加申込方法・原稿提出方法】

下記ウェブページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/23/announce/>

【講演・参加申込先・原稿提出先】

風戸雄太 (NTT)

〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11

TEL [0422] 59-6754

E-mail : ns-nws-secretariat@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

吉村康彦 (NTT)

TEL [0422] 59-3449

主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会

◎<http://www.ieice.org/~nws/>

●第 73 回機能集積情報システム研究会

委員長 金子晴彦 (東工大) 副委員長 市原英行 (広島市大)

本研究会は、ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能を、シリコン・ウェーハや VLSI, 3D IC (three-dimensional integrated circuit) 上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。本研究会では、次に示す FIIS 構築に関する幅広い研究分野を対象としています。

- ・情報システム設計に関する技術：誤り訂正・回復技術, SoC (System-on-chip) や NoC (Network-on-Chip) などの耐故障・再構成可能システムの構築技術, 低消費電力技術, 機械学習を用いた情報システム設計法, 近似・確率計算を用いたシステム設計法
- ・LSI 製造に関する技術：LSI 故障・欠陥検出法 (テスト手法, テスト容易化設計法), チップの歩留まり解析, 歩留まり向上設計法, レイアウト設計・解析手法, 故障モデルの解析, 信頼度解析, 性能評価などの理論的解析手法

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼・低消費電力な機能集積情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第 73 回機能集積情報システム研究会では下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

日時 2020 年 10 月 30 日 (金) 13:00~ (開始時間は予定)

会場 広島市立大学 (予定)

※詳細は <https://www.ieice.org/~fiis/cfp.html>

一般申し込み締切 8 月 7 日 (金)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先、発表予定者を下記幹事までお知らせ下さい。

【申込・問合せ先】

難波一輝 (千葉大大学院工学研究院)

E-mail : namba@ieee.org

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会